

『屍』 作：ポチ子

『屍』 作：ポチ子

この地面には屍が埋まっている。

それは、

ここで野垂れ死んだ恐竜かもしれないし、

全てに見放された人かもしれない。

私はそんな地面を、

平気な面して踏みつぶし歩く。

屍が埋まっているか、

埋まっていないか。

そんなこと一つも考えずに。

『屍』 作：ポチ子

それは私だけでなく、

周りの人、みんなだ。

ここに埋まる屍よ。

可哀想に。

あなたのことは誰も覚えていない。

きつと覚えてる必要もなかった。

だから今、踏みつぶされる。

ここに埋まる屍よ。

次が私では無いことを、

願うばかりだ。